



bordstation
簡単ご利用ガイド



株式会社MJE

目次

鍵、本体扉の開け方	3
各部品のご案内	4
内扉の開け方について	5
ディスプレイ扉の開け方	6
ディスプレイと対応ドリンクコラム	7
ドリンクの補充について	8~9
ドリンク購入時のご注意点	10
リモコンのご案内	11
ドリンクコラム冷温切り替え	12
物販コラム常温設定	13~14
テスト販売について	15
販売休止について	16
価格設定について	17
売上集計・クリアについて	18
物販用コラムについて	19~20
部品の清掃、機械トラブルについて	21
ドリンクコラムでの物販について	22
ホットへの切り替えについて	23

よく使う操作については下記頁をごらんください。

・リモコンについて	11
・温度設定	
ドリンクコラム冷温切り替え	12
物販コラム常温設定	13~14
・販売休止方法	16
・価格設定	17
・売上集計方法	18
・機械トラブルについて	21

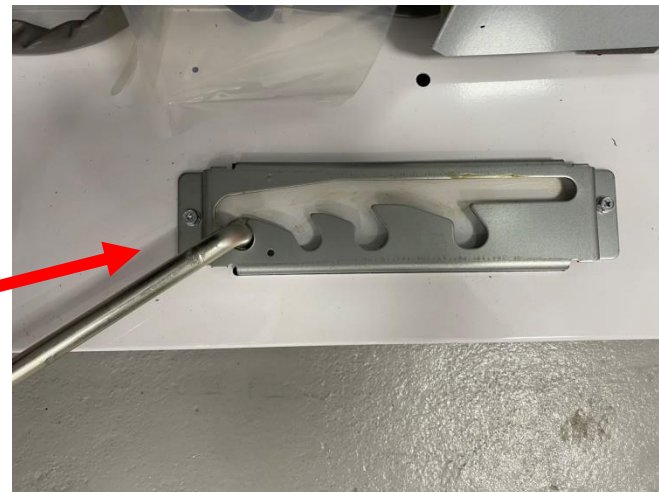
鍵・本体扉の開け方



※鍵は2本別々で保管してください。
1本でも紛失した場合、部品交換が必要になります。

※ハンドルの向きが縦になっていると
ドアが閉まりません。
ドアを閉める前に必ずハンドルの向き
をご確認ください。

赤丸の部分に鍵をさしこみ、ハンドルを手前に引き出し、ハンドルを左に回すと扉が開きます。



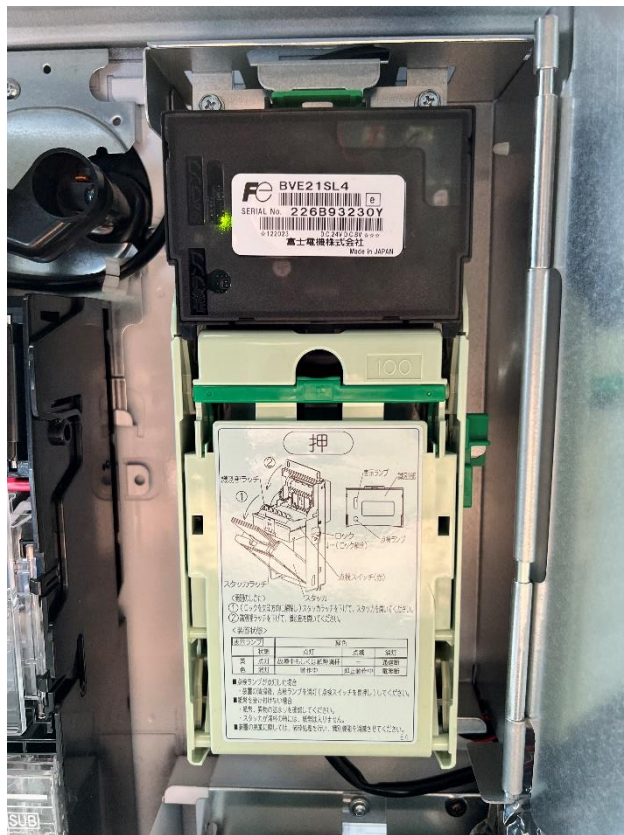
ドアストッパーでドアを固定します。

各部品のご案内



コインメック

センサと電子回路により
正貨の判定を素早く行う部品



ビルバリ

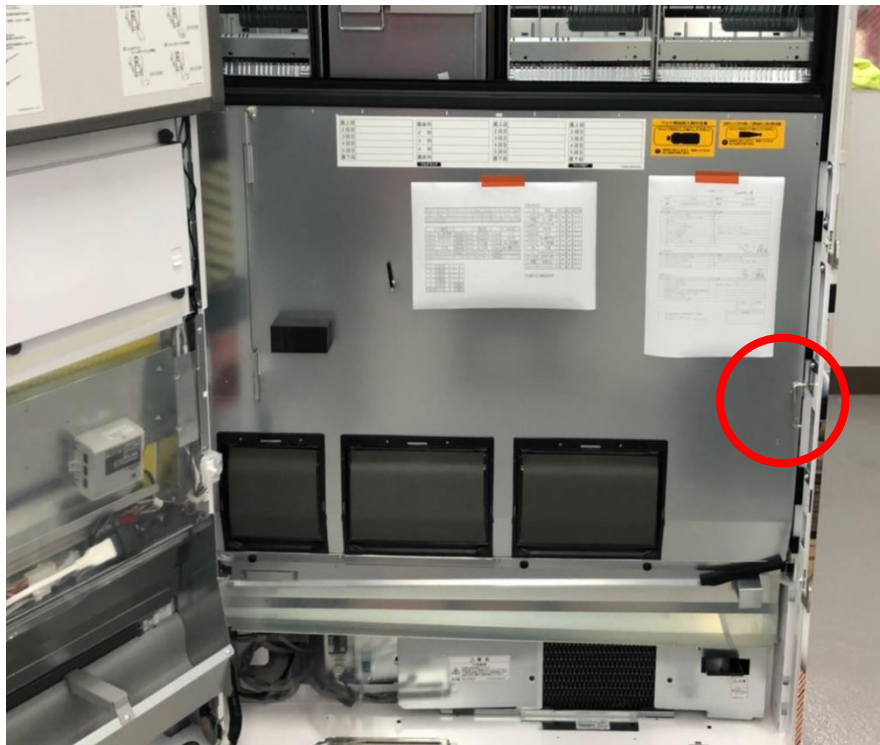
紙幣識別機ユニット



キャッシュボックス

釣り銭が充分にあるときに
余分な硬貨がたまる箱

内扉の開閉について



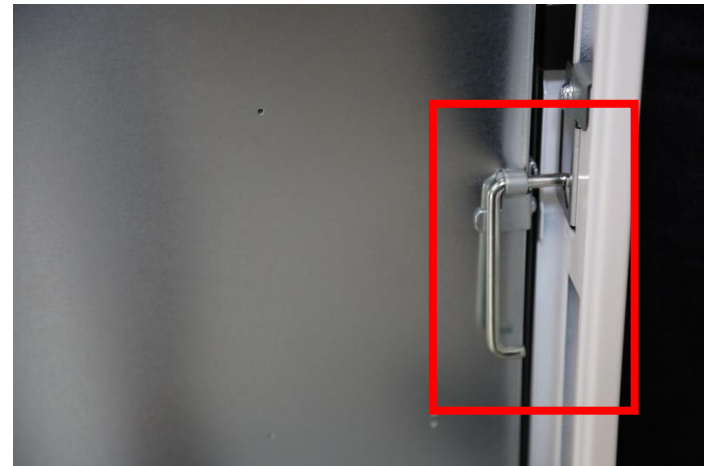
開ける場合

印の箇所のレバー（ロックレバー）を上にあげ、ロックを外し、扉を開きます。

閉める場合

ロックをしたあと、レバーを完全に下まで下げます。
※レバーが下がりがきっていないと部品の破損につながり、内扉の交換が必要になります

<扉を閉めた時のレバーの状態>



▲正しい位置



▲悪い位置の例

ディスプレイ扉の開け方

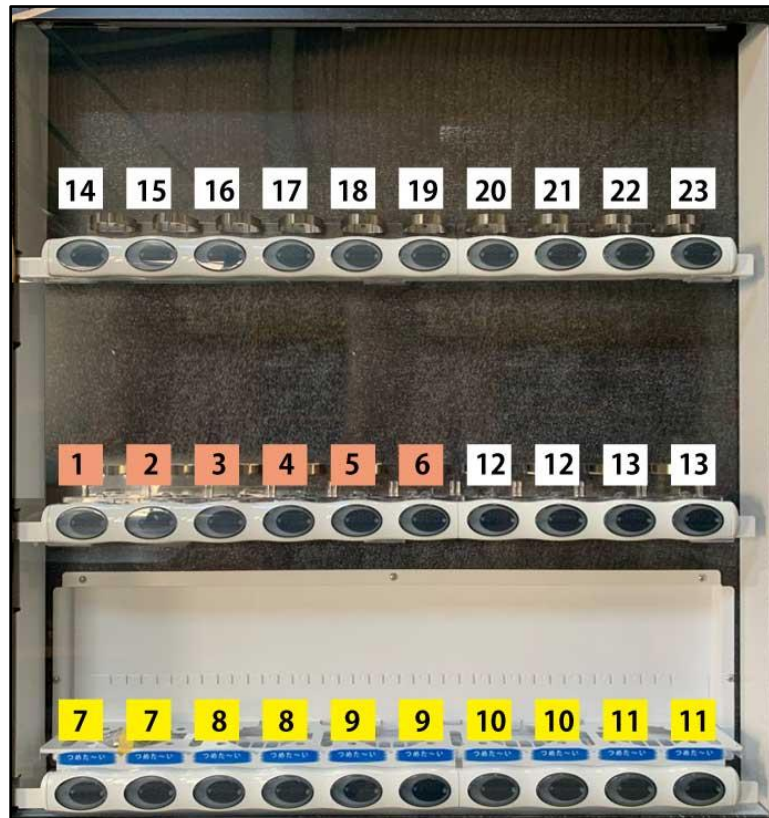


赤丸の部分のつまみを押し上げると、ディスプレイ扉を開くことができます。
※ディスプレイ扉を閉める際は、つまみ部分がしっかり引っかかっていることをご確認ください。

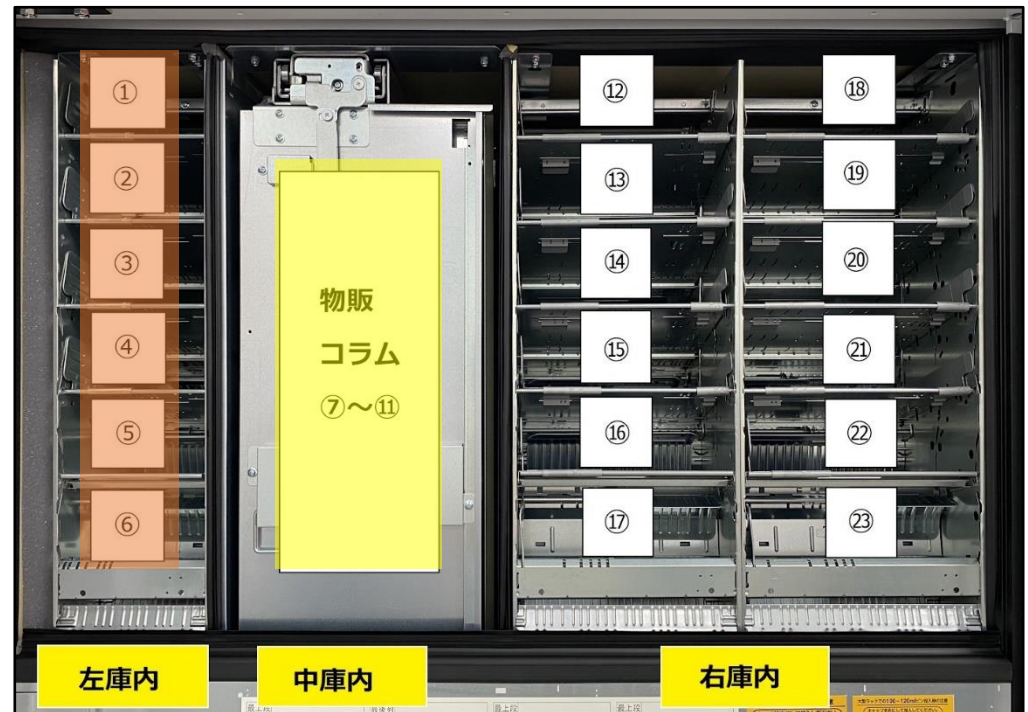
ディスプレイと対応するドリンクコラム

☞ 自販機内で商品を詰める棚のことを**コラム**といいます

〈ディスプレイ部分〉



〈コラム部分〉



※ディスプレイは初期設定の配置です 白・橙…ドリンク販売コラム 黄…物販コラム
1~6には190ml~350mlサイズの缶商品が入ります。ホット設定はこちらのみ可能です。
12~23には160ml~500mlサイズの商品が入ります。

ドリンクの補充について①

☞ 補充ポイント

✓ サイズの確認

高さ：21.5cm以内

幅：6.5cm以内

重さ：190g以上



✓ 仕切りのサイズ調整

ドリンクのサイズに合わせましょう



✓ 補充向きの確認

缶
どちらでも可



ペットボトル
左向き



細瓶
右向き



✓ 放り込まず、丁寧に補充

上のコラムほど奥までドリンクが
転がるので注意が必要です

※詰まりが発生した場合、訪問料金が
発生しますので十分ご注意ください。

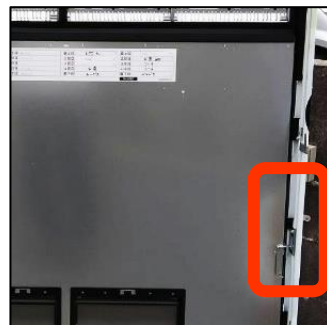
ドリンクの補充について②

👉 細い瓶の販売手順

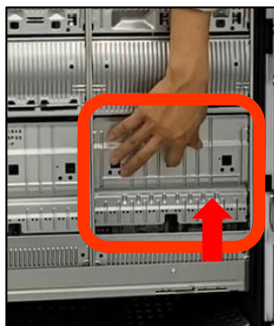
小型びん商品（Φ50mm未満の太さの商品）は自販機の出口ガイドの調整が必要です。



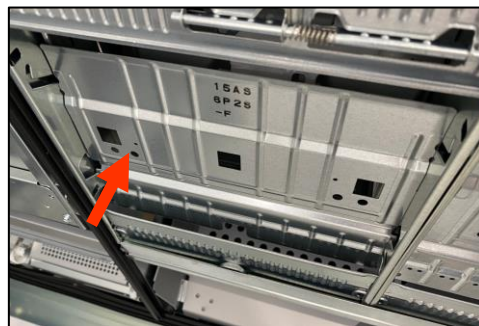
一番下のコラムを使用します



商品投入口下の銀色のレバーを回し、中扉を開けます



出口幅ガイドを持ち上げ、奥に押し込んで調整します
調整後は実際に細瓶を投入してテスト販売をしてください



細い瓶は右向きで
補充します

ドリンク購入時の注意点

☞ ドリンク用コラムで販売不可の商品・不向きな商品

✓ コンビニ商品

サイズが合わないため販売不可
となります



✓ 店頭販売専用商品

段ボールに注意書きがあるものは
販売不可となります



✓ 変形商品

販売可能ですが、詰まりやすいため
あまりオススメしていません

※販売する場合、一番下のコラムでの
販売をお願いします。



リモコンの主な操作・基礎知識

冷温切替

庫内の冷却・加温の切り替え

テスト

各種テストを行うときに使用

販売休止

販売休止時間、販売休止モードを設定・確認するときに使用

コラム設定

コラム-セレクションの設定・確認するときに使用

点検/クリア

①故障内容の確認
②各種データのクリア・コピーを行うときに使用

モード スタート/ストップ

①主な操作以外の設定・確認をするときに使用
②テスト販売の開始または停止



点検ランプ

故障が発生すると点滅

売上集計

売上データを確認するときに使用

価格設定

現金の価格設定をするときに使用

ダウン・アップ

各種項目・モード・データなどを変更するときに使用
1回押すごとにデータが増減する

書込み

リモコンを操作して、データを確定するときに使用

終了

リモコン操作を終了し、販売待機状態に戻る

ドリンクコラム 冷温の切り替えについて

冷温の切り替え方法 ※冷温切り替えができるのは左庫内のみです。



リモコン上部にある「左」ボタンを2秒以上長押しします。
リモコンの画面に<CCC>など、
各庫内の運転状態が表示されます。

冷却運転時：C (cold 冷たいの略)
加温運転時：H (hot 温かいの略)

続けて「左」を押していただくと、
写真のように<HCC>と表示が変わり、
左庫内が加温運転に切り替わります。
冷却運転に戻す場合は再度「左」を押します。

ランプ点灯：加温運転／ランプ消灯：冷却運転

※冷温を切り替えた際、庫内は一括で冷温が切り替わります。
※乳製品・炭酸商品はホットのコラムに入れなくてください。

物販コラムの常温設定方法①

☞ 常温設定方法①ヘルスコードの解除

※初期設定でヘルスコードの対象コラムが設定されています。

※常温設定を行う場合はヘルスコード解除（点灯→消灯）の操作が必要になります。



販売休止キーを
5回押します





リモコンの液晶は
「HE」と表示されます



販売可能ランプが点灯している
商品選択ボタンを手で押し、消灯状態にします
すべての商品選択ボタンを消灯状態にしたなら、
リモコンの『終了』キーを押します ←

※ヘルスコードとは、
冷却中に停電や故障により庫内温度が10°Cを超えた場合、
安全のため販売を中止するための機能です
常温設定をする場合は、機能を無効にする必要があります

 点灯 = 設定

 消灯 = 未設定

物販コラムの常温設定方法②

☞ 常温設定方法②モード『e-07』設定

※ヘルスコード解除操作の後、必要な操作です



モードボタンを
押します



アップ/ダウンの
ボタンを押し、
モード番号を「e」に
設定します



書込みボタンを
押します



アップ/ダウンの
ボタンを押し、
項目番号を「7」に
設定します



書込みボタンを
押します



液晶部分に「C1
0」
と表示されるのを
確認します



書込みボタンを
押します



液晶部分に「C2
0」
と表示されるのを
確認します



アップボタンを一度だけ押し、
「C2 1」に設定します



書込みボタンを
押すと設定完了です

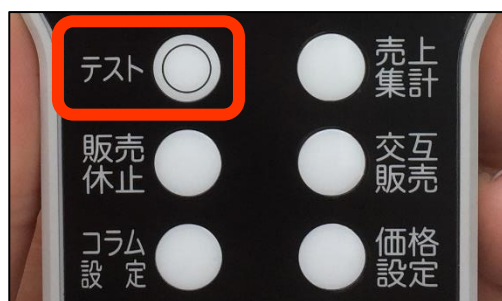


常温設定の場合、
商品選択ボタンの色が
紫色になります

テスト販売について

テスト販売する商品をリモコンのテストボタンで出す

✓商品を一冊ずつ出す方法



テストボタンを1度押します



自販機の外側から出したい商品のボタンを押します



「ガシャンガシャン」と音が鳴り、商品が出てこなければ空になった証拠です

✓商品を一気に出す方法



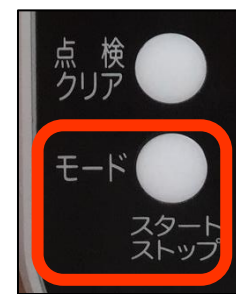
テストボタンを2度押し、
外側から出したい商品のボタンを押します



モードボタンを押すと、
ブザー音と共に自動で商品が出てきます



ブザー音のあと、「ガシャンガシャン」と音が鳴れば空になった証拠です



もう一度モードボタンを押すと、動作が止まります

販売休止について

冷却または加熱のための販売休止方法



リモコンの「販売休止」ボタンを押すと
(H1 〇) と〇の中に数字が表示されます。

続けて『アップ』ボタンを押し、
設定したい休止時間が表示されたら
『書込み』ボタンを押して時間を確定します。

※ 〈H1 2〉と表示されている場合、
2時間休止のタイマーが設定されています。



『販売休止タイマーを設定したい商品の
選択ボタンを直接手で押します。』



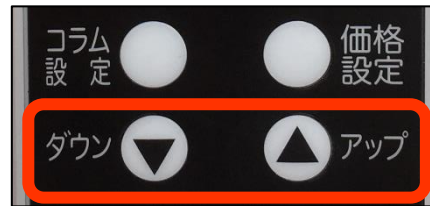
2時間(120分)の設定であれば、
選択ボタンの価格表示部分に〈120〉と表示されます。
『終了』キーを押すと商品選択ボタンが準備中表示に切り替わり、
2時間後に自動で販売を開始します。

価格設定について

販売価格の設定をする



リモコンの「価格設定」ボタンを押すと画面に価格が表示されます



アップ/ダウンのボタンを押して、価格を変更します



価格変更したい商品のボタンを押します。
表示の価格が変更されたのを確認し、問題なければリモコンの「終了」ボタンを押します



※価格設定を4ケタ以上の金額で設定した場合、商品の価格表示が消えます。
別途値段プレートをご自身にてご用意いただくようお願いいたします。



売上集計確認・クリア方法

⑦売上の確認・クリアをする

✓ トータルの売上個数を確認



←売上集計キーを**1回**押すと、
トータルの売上個数が表示されます

✓ トータルの売上金額を確認



←売上集計キーを**2回**押すと、
トータルの売上金額が表示されます

✓ コラム別の売上個数・金額を確認



トータル売上個数や金額を表示後、
商品選択ボタンを押すと、
リモコンに各コラム別の
売上本数・金額が表示されます。

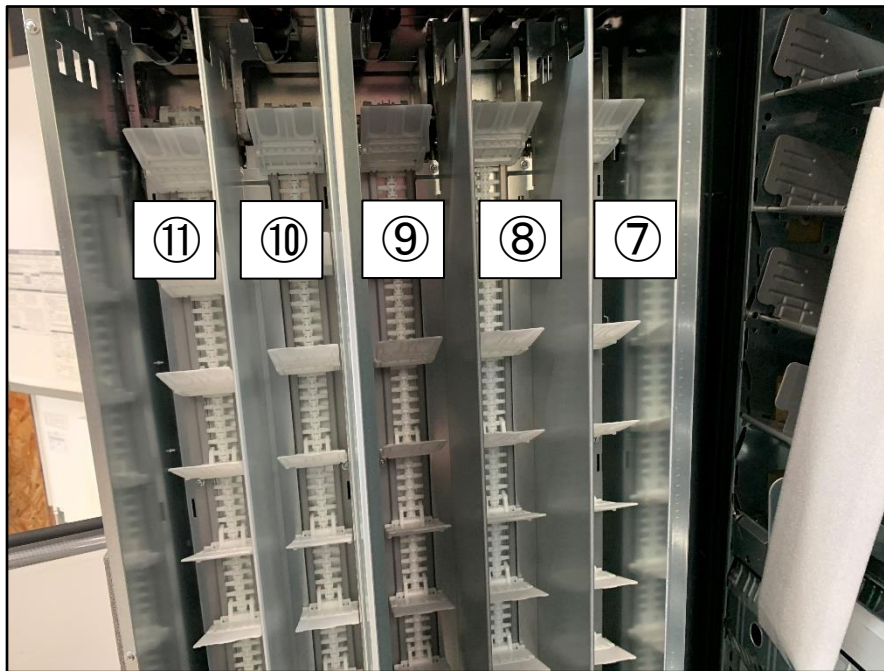
✓ 売上個数・金額のクリア

売上個数・売上金額を表示している状態で
『点検/クリア』キーを2秒以上押し続けると、
すべてのコラムの売上個数・売上金額がクリアされ
れます

※トータル売上金額・コラム別売上金額をクリア
した場合、同時にトータル売上金額・コラム別売
上金額もクリアします

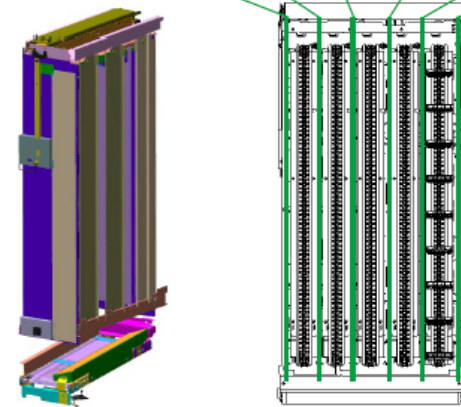
物販箇所のコラム番号

〈マルチラック内のコラム番号〉



〈コラム幅の切替例〉

	固定仕切り				
	可動仕切り		可動仕切り		可動仕切り
標準設定	標準	標準	標準	標準	標準
切替例①	細 ←	太	標準	細 ←	太
切替例②	太 →	細	細 ←	極太 →	細
切替例③			太 →	極細 ←	太
	11	10	9	8	7



※商品の補充を行う際は、必ず一番下の商品棚から、漏れのないように補充してください。
また、左右の仕切り板には接触しないように詰めてください。

物販コラム 商品の補充について

👉物販コラムへの補充



【販売商品サイズ（目安）】

高さ	19～101mm ※初期設定(7ピッチ) <u>66mm</u>
幅	64～120mm ※初期設定(標準) <u>92mm</u>
奥行き	50～160mm
重さ	45～350g

【補充時の注意点】

- ※商品は必ず一番下から補充してください
- ※もれのないようにつめてください
- ※商品が左右の壁に触れないようにつめてください
- ※商品の形状や種類によって、販売できない場合があります
- ※商品重量は1棚当たり350g以下、1コラムあたり3.7kg以下にしてください

部品の清掃、機械トラブルについて

コインメック、ビルバリは硬貨や紙幣の汚れ、ほこり、水濡れ、異物などにより汚れがたまります。

硬貨識別及び払出性能維持のためにも1ヶ月に1度は清掃を行っていただくようお願い致します。

汚れがひどくなると硬貨識別、払出性能が低下します。

※清掃方法の詳細は別紙「自販機お掃除編」資料の裏面をご覧ください。

その他、機械に関連することで何かございましたら、

右記、サポートサイトにてご確認くださいませ。

エラーコードのマニュアルや、各種不具合の状況からの対応方法などご覧いただけます。

物販用ボトルケースのご注文も承っております。

お問合せ先

メールアドレス：mje-support@mjeinc.co.jp

営業時間：平日10:00～17:00（土日祝休み）



ボードステーション ユーザーサイト
<https://user.bordstation.jp/>

ドリンクコラムでの物販について

👉 ドリンクコラムでの物販のポイント

※サイズ・重量を確認しましょう。(190g以上推奨)

※重さが足りない場合は、ビー玉や小石を入れてかさ増ししましょう。

※ボトルに関するご注文・ご質問はお気軽にお問い合わせ下さいませ。

実物			
名称	ガラスボトル	プラボトル	ロングボトル
容量	190ml (満量)	340ml (満量)	-
直径	6.2cm	6.2cm	6cm
高さ	9.9cm	12.4cm	18cm



ホットへの切り替えについて

①ホットドリンクを補充する

※冷温を切り替える場合は11ページを参照

※補充の際は前ページのポイントに気を付けましょう。

※HOTの場合、加熱すると賞味期限が2週間ほどになるので、
補充本数に気を付けましょう。

※HOTで使用できるペットボトルは、
キャップがオレンジ色の商品のみです。



②ディスプレイの商品を入れ替える

※ディスプレイ商品全ての中身を必ず抜いてから補充しましょう。

ディスプレイ部分は日中高温になるため、
破裂の可能性があります。また、
ドリンクの重さによるスペース
破損の可能性があります。

